

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
i	目次	目次 検索性向上のため、〔第 2 編〕土木工事標準歩掛と〔第 5 編〕施工パッケージ型積算基準の目次を統合しています。(作業日当り標準作業量も同様) 〔第 1 編〕土木工事積算基準等通知資料 1. 工事費の積算基準の公表について…………… <3> 2. 「工事費の積算基準の公表について」の運用について…………… <6> 3. 土木工事工事費積算要領及び基準について…………… <9> 4. 「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」の改定について…………… <16> 5. 土木工事標準歩掛について…………… <67> 6. 市場単価方式による積算について…………… <71> 7. 市場単価方式による週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行） …… <78> 8. 物価資料掲載の土木工事標準単価の活用について…………… <80> 9. 建設省所管公共土木工事の積算について・ <81> 10. 植栽工事における割増積算について…………… <82> 11. 「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算方法」の改定について…………… <83> 12. 「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算方法について」の運用について…………… <93> 13. 土木請負工事における設計書及び工事数量総括表に関する標準的な構成内容について…………… <94> 14. 土木請負工事における現場環境改善費の積算要領…………… <96> 15. 令和 4 年度作業日当り標準作業量について…………… <101> 16. 1 日未満で完了する作業の積算について…………… <104> 17. 施工箇所が点在する工事の積算方法について…………… <116> 18. 週休 2 日の推進に向けた適切な工期設定について…………… <121> 19. 「直轄土木工事における適正な工期設定指針」の一部改定について…………… <123> 20. 工事における週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行）…………… <133> 21. 「工事における週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行）」の運用について…………… <135> 22. 週休 2 日交替制モデル工事の試行について…………… <138> 23. 「週休 2 日交替制モデル工事の試行について」の運用について…………… <140> 24. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について…………… <143> 25. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行についての運用について…………… <145> 26. 新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防に向けて…………… <148> 27. 快適トイレの導入について…………… <149> 28. 国土交通省所管事業の執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向けた具体的対策について…………… <154> 29. 建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律の公布及び公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律の公布・施行について（通知） …… <162> 30. 公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律の施行について（通知）…………… <167> 31. 少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について（試行）…………… <168> 32. 「少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について（試行）」の運用について…………… <169> 33. 交通誘導警備員の積算基準の改定について…………… <175> 34. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」について…………… <179> 35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について…………… <184> 36. 施工パッケージ型積算方式の試行について…………… <228> 37. 「施工パッケージ型積算基準」の改定について…………… <232>	目次 検索性向上のため、〔第 2 編〕土木工事標準歩掛と〔第 5 編〕施工パッケージ型積算基準の目次を統合しています。(作業日当り標準作業量も同様) 〔第 1 編〕土木工事積算基準等通知資料 1. 工事費の積算基準の公表について…………… <3> 2. 「工事費の積算基準の公表について」の運用について…………… <6> 3. 土木工事工事費積算要領及び基準について…………… <9> 4. 「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」の改定について…………… <16> 5. 土木工事標準歩掛について…………… <67> 6. 市場単価方式による積算について…………… <71> 7. 市場単価方式による週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行） …… <78> 8. 物価資料掲載の土木工事標準単価の活用について…………… <80> 9. 建設省所管公共土木工事の積算について・ <81> 10. 植栽工事における割増積算について…………… <82> 11. 「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算方法」の改定について…………… <83> 12. 「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算方法について」の運用について…………… <93> 13. 土木請負工事における設計書及び工事数量総括表に関する標準的な構成内容について…………… <94> 14. 土木請負工事における現場環境改善費の積算要領…………… <96> 15. 令和 4 年度作業日当り標準作業量について…………… <101> 16. 1 日未満で完了する作業の積算について…………… <104> 17. 施工箇所が点在する工事の積算方法について…………… <116> 18. 週休 2 日の推進に向けた適切な工期設定について…………… <121> 19. 「直轄土木工事における適正な工期設定指針」の一部改定について…………… <123> 20. 工事における週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行）…………… <133> 21. 「工事における週休 2 日の取得に要する費用の計上について（試行）」の運用について…………… <135> 22. 週休 2 日交替制モデル工事の試行について…………… <138> 23. 「週休 2 日交替制モデル工事の試行について」の運用について…………… <140> 24. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について…………… <143> 25. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行についての運用について…………… <145> 26. 新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防に向けて…………… <148> 27. 快適トイレの導入について…………… <149> 28. 国土交通省所管事業の執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向けた具体的対策について…………… <154> 29. 建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律の公布及び公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律の公布・施行について（通知） …… <162> 30. 公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律の施行について（通知）…………… <167> 31. 少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について（試行）…………… <168> 32. 「少雪時における道路除雪工の固定的経費の積算方法について（試行）」の運用について…………… <169> 33. 交通誘導警備員の積算基準の改定について…………… <175> 34. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」について…………… <179> 35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について…………… <184> 36. 施工パッケージ型積算方式の試行について…………… <235> 37. 「施工パッケージ型積算基準」の改定について…………… <239>

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
ii	目次	38. 「令和 4 年度施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <235> 39. 令和 4 年度東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等について …… <238> 40. 「令和 4 年度東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <240> 41. 令和 4 年度熊本地震の復興・復旧事業等における積算方法等について …… <242> 42. 「令和 4 年度熊本地震の被災地（熊本県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <244> 43. 令和 4 年度平成30年 7 月豪雨の復興・復旧事業等における積算方法等について …… <246> 44. 「令和 4 年度平成30年 7 月豪雨の被災地（広島県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <248> 45. 建設機械等賃料積算基準について …… <250> 46. 建設用仮設材賃料積算基準の一部改正について …… <251> 47. 建設用仮設材賃料積算基準の運用について …… <253> 48. 請負工事機械経費積算要領 …… <256> 49. 建設機械損料の算定について …… <265> 50. 機械損料のスライドの運用について …… <266> 51. 建設用仮設材損料算定基準 …… <268> 52. ダム施工機械等損料算定基準 …… <270> 53. ダム施工機械等損料算定基準の取扱いについて …… <272> 54. 除雪等の作業に使用する除雪用建設機械の機械損料について（通知） …… <273> 55. 建設機械の消耗部品の損耗費及び補修費について …… <275> 56. ウェルポイント施工機械器具損料算定表について …… <276> 57. 無償貸与機械に係る現場修理費について …… <277> 58. 建設機械に関する技術指針 …… <278> 59. 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程 …… <282> 60. 排出ガス対策型建設機械指定要領 …… <286> 61. 「排出ガス対策型原動機の認定及び排出ガス対策型建設機械の指定に関する技術基準」について …… <294> 62. 排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程 …… <296> 63. 第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領 …… <301> 64. 「東日本大震災の被災地で使用する建設機械の機械損料の補正について（通知）」の一部改定について …… <327> 65. 土木請負工事工事費積算基準（電気通信編）の制定について …… <328> 【第 2 編】土木工事標準歩掛 ★施工パッケージ型積算基準の本文は〔第 5 編〕にあります。 I. 調査について …… 3 施工合理化調査 …… 3 土木工事標準歩掛の使用に当たっての留意事項 …… 4 II. 土木工事標準歩掛 …… 5 1 章 一般事項 ① 建設機械運転労務 …… 5 1. 適用職種 …… 5 2. 労務歩掛 …… 5 ② 原動機燃料消費量 …… 6 1. 適用範囲 …… 6 2. 燃料消費量 …… 6 ③ 重建設機械分解・組立 …… 15 1. 適用範囲 …… 15 2. 施工歩掛 …… 16 3. そ の 他 …… 18 2 章 土 工 ① 土量変化率等 …… 1007 1. 土量の変化 …… 1007 2. 土量変化率 …… 1007 3. 適用土質及び機械損料補正 …… 1008 4. 土質区分の対応 …… 1008 5. 岩質の判定基準 …… 1010 ② 土 工 …… 1011 1. 適用範囲 …… 1011 2. 施工概要 …… 1013 3. 施工パッケージ …… 1017 ③ 土工（ICT） …… 1041 1. 適用範囲 …… 1041 2. 施工概要 …… 1041 3. 施工パッケージ …… 1042 ④ 床 掘 工 …… 1048 1. 適用範囲 …… 1048 2. 施工概要 …… 1049 3. 施工パッケージ …… 1051	38. 「令和 4 年度施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <242> 39. 令和 4 年度東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等について …… <245> 40. 「令和 4 年度東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <247> 41. 令和 4 年度熊本地震の復興・復旧事業等における積算方法等について …… <249> 42. 「令和 4 年度熊本地震の被災地（熊本県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <251> 43. 令和 4 年度平成30年 7 月豪雨の復興・復旧事業等における積算方法等について …… <253> 44. 「令和 4 年度平成30年 7 月豪雨の被災地（広島県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」について …… <255> 45. 建設機械等賃料積算基準について …… <257> 46. 建設用仮設材賃料積算基準の一部改正について …… <258> 47. 建設用仮設材賃料積算基準の運用について …… <260> 48. 請負工事機械経費積算要領 …… <263> 49. 建設機械損料の算定について …… <272> 50. 機械損料のスライドの運用について …… <273> 51. 建設用仮設材損料算定基準 …… <275> 52. ダム施工機械等損料算定基準 …… <277> 53. ダム施工機械等損料算定基準の取扱いについて …… <279> 54. 除雪等の作業に使用する除雪用建設機械の機械損料について（通知） …… <280> 55. 建設機械の消耗部品の損耗費及び補修費について …… <282> 56. ウェルポイント施工機械器具損料算定表について …… <283> 57. 無償貸与機械に係る現場修理費について …… <284> 58. 建設機械に関する技術指針 …… <285> 59. 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程 …… <289> 60. 排出ガス対策型建設機械指定要領 …… <293> 61. 「排出ガス対策型原動機の認定及び排出ガス対策型建設機械の指定に関する技術基準」について …… <301> 62. 排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程 …… <303> 63. 第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領 …… <308> 64. 「東日本大震災の被災地で使用する建設機械の機械損料の補正について（通知）」の一部改定について …… <334> 65. 土木請負工事工事費積算基準（電気通信編）の制定について …… <335> 【第 2 編】土木工事標準歩掛 ★施工パッケージ型積算基準の本文は〔第 5 編〕にあります。 I. 調査について …… 3 施工合理化調査 …… 3 土木工事標準歩掛の使用に当たっての留意事項 …… 4 II. 土木工事標準歩掛 …… 5 1 章 一般事項 ① 建設機械運転労務 …… 5 1. 適用職種 …… 5 2. 労務歩掛 …… 5 ② 原動機燃料消費量 …… 6 1. 適用範囲 …… 6 2. 燃料消費量 …… 6 ③ 重建設機械分解・組立 …… 15 1. 適用範囲 …… 15 2. 施工歩掛 …… 16 3. そ の 他 …… 18 2 章 土 工 ① 土量変化率等 …… 1007 1. 土量の変化 …… 1007 2. 土量変化率 …… 1007 3. 適用土質及び機械損料補正 …… 1008 4. 土質区分の対応 …… 1008 5. 岩質の判定基準 …… 1010 ② 土 工 …… 1011 1. 適用範囲 …… 1011 2. 施工概要 …… 1013 3. 施工パッケージ …… 1017 ③ 土工（ICT） …… 1041 1. 適用範囲 …… 1041 2. 施工概要 …… 1041 3. 施工パッケージ …… 1042 ④ 床 掘 工 …… 1048 1. 適用範囲 …… 1048 2. 施工概要 …… 1049 3. 施工パッケージ …… 1051

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																
〈196〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（河床等掘削）積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－14 ICT活用工事（河床等掘削）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、ICTによる機械土工（河床等掘削）（以下、河床等掘削（ICT））のうち、施工数量50,000m3未満の場合に適用する。 積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 なお、現場条件によって「2－1 機械経費」に示すICT建設機械の規格よりも小さいICT建設機械を用いる場合は、施工パッケージ型積算基準によらず、見積りを活用し積算することとする。 2. 機械経費 2－1 機械経費 河床等掘削（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章工事費の積算④直接工事費」により算定するものとする。 ① 河床等掘削（ICT）<table><tr><th>ICT建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）</td><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）</td><td>賃料にて計上</td><td>ICT建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>※「2－1 機械経費」に示す、賃料にて計上する、ICT施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。 2－2 ICT建設機械経費加算額 ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、「2－1 機械経費」で示すICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1）河床等掘削（ICT） 対象建設機械：バックホウ（ICT施工対応型） 賃料加算額：13,000円／日 2－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 河床等掘削（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役（円）} \times 0.05 \text{（人／日）} \times \frac{\text{施工数量（m3）}}{\text{作業日当り標準作業量（m3／日）}} \times 1.09$（注） 1. 作業日当り標準作業量は「第 1 編第14章その他④作業日当り標準作業量」のICT標準作業量（施工パッケージ「土工【掘削】」）による。 2. 施工数量は、ICT施工の数量とする。 —〈196〉—	ICT建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－14 ICT活用工事（河床等掘削）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、バックホウ（ICT施工対応型）により施工する場合に適用する。 積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 ・機械土工（河床等掘削）（ICT） なお、現場条件によって「2－1 機械経費」に示すICT建設機械の規格よりも小さいICT建設機械を用いる場合は、施工パッケージ型積算基準によらず、見積りを活用し積算することとする。 2. 機械経費 2－1 機械経費 河床等掘削（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章工事費の積算④直接工事費」により算定するものとする。 ① 河床等掘削（ICT）<table><tr><th>ICT建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）</td><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）</td><td>賃料にて計上</td><td>ICT建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>※「2－1 機械経費」に示す、賃料にて計上する、ICT施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。 2－2 ICT建設機械経費加算額 ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、「2－1 機械経費」で示すICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1）河床等掘削（ICT） 対象建設機械：バックホウ（ICT施工対応型） 賃料加算額：13,000円／日 2－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 河床等掘削（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役（円）} \times 0.05 \text{（人／日）} \times \frac{\text{施工数量（m3）}}{\text{作業日当り標準作業量（m3／日）}}$（注） 1. 作業日当り標準作業量は「第 1 編第14章その他④作業日当り標準作業量」の標準作業量（機械土工（河床等掘削）（ICT））による。 2. 施工数量は、ICT施工の数量とする。 —〈196〉—	ICT建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上
ICT建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上																
ICT建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ（クローラ型）	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積0.8m3（平積0.6m3）	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上																

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																
〈200〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（作業土工（床掘り））積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－16 ICT活用工事（作業土工（床掘り））積算要領 1. 適用範囲 本資料は、ICT施工において、3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び 3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘りに適用する。 平均施工幅 2 m 以上の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅 2 m 未満の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、本要領によるものとする。 2. 機械経費 2－1 機械経費 作業土工（ICT）の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章 工事費の積算①直接工事費」により算定するものとする。 作業土工（床掘り）（ICT） <table><tr><th>ICT 建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）</td><td>損料にて計上</td><td>ICT 建設機械経費加算額を加算</td></tr></table> 2－2 ICT 建設機械経費加算額 2－2－1 損料加算額 ICT 建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち、損料にて計上する ICT 建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1）掘削（ICT） 対象建設機械：バックホウ 損料加算額：5,470 円／日 ※システム初期費含む 2－3 その他 ICT 建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT 建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 （1）作業土工（床掘り）（ICT） 施工数量（m3） 保守点検費＝土木一般世話役（円）×0.05（人／日）× 作業日当り標準作業量（m3／日） —〈200〉—	ICT 建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）	損料にて計上	ICT 建設機械経費加算額を加算	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－16 ICT活用工事（作業土工（床掘り））積算要領 1. 適用範囲 本資料は、ICT施工において、3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び 3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘りに適用する。 平均施工幅 2 m 以上の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅 2 m 未満の土砂の掘削等である床掘の積算にあたっては、本要領によるものとする。 ただし、平均施工幅 1 m 未満の床掘の積算にあたっては、別紙－37「ICT 活用工事（小規模土工）積算要領」によるものとする。 2. 機械経費 2－1 機械経費 作業土工（ICT）の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章 工事費の積算①直接工事費」により算定するものとする。 作業土工（床掘り）（ICT） <table><tr><th>ICT 建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）</td><td>損料にて計上</td><td>ICT 建設機械経費加算額を加算</td></tr></table> 2－2 ICT 建設機械経費加算額 2－2－1 損料加算額 ICT 建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち、損料にて計上する ICT 建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1）掘削（ICT） 対象建設機械：バックホウ 損料加算額：5,470 円／日 ※システム初期費含む 2－3 その他 ICT 建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT 建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 （1）作業土工（床掘り）（ICT） 施工数量（m3） 保守点検費＝土木一般世話役（円）×0.05（人／日）× 作業日当り標準作業量（m3／日） —〈200〉—	ICT 建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）	損料にて計上	ICT 建設機械経費加算額を加算
ICT 建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）	損料にて計上	ICT 建設機械経費加算額を加算																
ICT 建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積 0.45m3（平積 0.35m3）	損料にて計上	ICT 建設機械経費加算額を加算																

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																				
〈202〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（作業土工（床掘り））積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 1－1 日当り施工量 バックホウによる床掘り（作業土工）の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 1.2 床掘り（バックホウ掘削）日当り施工量 （1 日当り） <table><tr><th>作業の内容</th><th>名 称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th colspan="2">数量</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>障害なし</th><th>障害あり</th></tr><tr><td rowspan="2">標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）</td><td rowspan="2">バックホウ（クローラ型）運転</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>m³</td><td>163</td><td>109</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>m³</td><td>119</td><td>76</td></tr><tr><td rowspan="2">標準 （平均施工幅 2 m 以上）</td><td rowspan="2">バックホウ（クローラ型）運転</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m³（平積0.6m³） 吊能力2.9 t</td><td>m³</td><td>240</td><td>196</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m³（平積0.6m³） 吊能力2.9 t</td><td>m³</td><td>174</td><td>141</td></tr></table> （注） 1．現場条件の内容 ①床掘り（作業土工） 障害なし：（1）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 （2）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：（1）床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合（例えば作業障害が多い場合）。 （2）土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 ②掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。 ③基面整正（床付面の整正作業）が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員 2 人を別途計上する。 2．上表にクレーン作業は含まない。 1－2 床掘り（作業土工）補助労務 構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。 表 1.3 床掘り補助労務 （100 ㎡当り） <table><tr><th>作業の種類</th><th>土留方式</th><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td rowspan="3">床掘り（作業土工）</td><td>自立式</td><td>普通作業員</td><td>人</td><td>0.3</td></tr><tr><td>切梁腹起し方式</td><td>〃</td><td>〃</td><td>0.9</td></tr><tr><td>グラウンドアンカー方式</td><td>〃</td><td>〃</td><td>0.7</td></tr></table>	作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量						障害なし	障害あり	標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	163	109	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	119	76	標準 （平均施工幅 2 m 以上）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9 t	m ³	240	196	岩塊・玉石	標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9 t	m ³	174	141	作業の種類	土留方式	名 称	単位	数量	床掘り（作業土工）	自立式	普通作業員	人	0.3	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9	グラウンドアンカー方式	〃	〃	0.7	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 1－1 日当り施工量 バックホウによる床掘り（作業土工）の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 1.2 床掘り（バックホウ掘削）日当り施工量 （1 日当り） <table><tr><th>作業の内容</th><th>名 称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th colspan="2">数量</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>障害なし</th><th>障害あり</th></tr><tr><td rowspan="2">標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）</td><td rowspan="2">バックホウ（クローラ型）運転</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>m³</td><td>163</td><td>109</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>m³</td><td>119</td><td>76</td></tr></table> （注） 1．現場条件の内容 ①床掘り（作業土工） 障害なし：（1）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 （2）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり：（1）床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合（例えば作業障害が多い場合）。 （2）土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 ②掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。 ③基面整正（床付面の整正作業）が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員 2 人を別途計上する。 2．上表にクレーン作業は含まない。 1－2 床掘り（作業土工）補助労務 構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。 表 1.3 床掘り補助労務 （100 ㎡当り） <table><tr><th>作業の種類</th><th>土留方式</th><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td rowspan="3">床掘り（作業土工）</td><td>自立式</td><td>普通作業員</td><td>人</td><td>0.3</td></tr><tr><td>切梁腹起し方式</td><td>〃</td><td>〃</td><td>0.9</td></tr><tr><td>グラウンドアンカー方式</td><td>〃</td><td>〃</td><td>0.7</td></tr></table> 2．単価表 （1）床掘り 100m² 当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>日</td><td>100/D</td><td>表1.2</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表1.3 必要に応じて計上</td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>（まるめ）</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> （注） D：日当たり施工量 （2）機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）（床掘り）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td><td>機－33</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33</td></tr></table>	作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量							障害なし	障害あり	標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	163	109	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	119	76	作業の種類	土留方式	名 称	単位	数量	床掘り（作業土工）	自立式	普通作業員	人	0.3	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9	グラウンドアンカー方式	〃	〃	0.7	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	バックホウ（クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	日	100/D	表1.2	普通作業員		人		表1.3 必要に応じて計上	諸雑費		式	1	（まるめ）	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バックホウ（クローラ型）（床掘り）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33
		作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量																																																																																																																																
				障害なし	障害あり																																																																																																																																		
標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	163	109																																																																																																																																	
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	119	76																																																																																																																																	
標準 （平均施工幅 2 m 以上）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9 t	m ³	240	196																																																																																																																																	
		岩塊・玉石	標準型・ICT施工対応型 クレーン機能付き・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ） 吊能力2.9 t	m ³	174	141																																																																																																																																	
作業の種類	土留方式	名 称	単位	数量																																																																																																																																			
床掘り（作業土工）	自立式	普通作業員	人	0.3																																																																																																																																			
	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9																																																																																																																																			
	グラウンドアンカー方式	〃	〃	0.7																																																																																																																																			
作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量																																																																																																																																		
					障害なし	障害あり																																																																																																																																	
標準 （平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満）	バックホウ（クローラ型）運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	163	109																																																																																																																																	
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	m ³	119	76																																																																																																																																	
作業の種類	土留方式	名 称	単位	数量																																																																																																																																			
床掘り（作業土工）	自立式	普通作業員	人	0.3																																																																																																																																			
	切梁腹起し方式	〃	〃	0.9																																																																																																																																			
	グラウンドアンカー方式	〃	〃	0.7																																																																																																																																			
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																			
バックホウ（クローラ型）運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	日	100/D	表1.2																																																																																																																																			
普通作業員		人		表1.3 必要に応じて計上																																																																																																																																			
諸雑費		式	1	（まるめ）																																																																																																																																			
計																																																																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																				
バックホウ（クローラ型）（床掘り）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33																																																																																																																																				

—〈202〉—

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																
〈204〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（法面工） 積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－20 ICT活用工事（法面工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3 次元設計データを活用した法面工及びICT施工による 3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術及び3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術を使用した盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。 1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3以上の法面整形の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3未満の積算にあたっては、本要領によるものとする。 2. 適用工種 盛土法面整形工及び切土法面整形工 モルタル吹付 コンクリート吹付 機械播種施工による植生工（植生基材吹付、客土吹付、種子散布） 人力施工による植生工（植生マット、植生シート、植生筋、筋芝、張芝） 現場吹付法枠工 3. 機械経費 3－1 機械経費 法面整形工（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章 工事費の積算④直接工事費」により算定するものとする。 法面整形工（ICT）<table><tr><th>ICT建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)</td><td>損料にて計上</td><td>ICT建設機械経費 加算額を加算</td></tr></table> 3－2 ICT建設機械経費加算額 3－2－1 損料加算額 ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、 2－1 機械経費のうち損料にて計上するICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 法面整形（ICT） 対象建設機械：バックホウ 損料加算額：5,470円／日 —〈204〉—	ICT建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)	損料にて計上	ICT建設機械経費 加算額を加算	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－20 ICT活用工事（法面工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3 次元設計データを活用した法面工及びICT施工による 3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術及び3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術を使用した盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。 1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3以上の法面整形の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3未満の積算にあたっては、本要領によるものとする。 ※土工量1000m3未満とは、盛土量又は切土量が1,000m3未満の場合をいう。 2. 適用工種 ○法面整形工 盛土法面整形工及び切土法面整形工 ○法面工 モルタル吹付 コンクリート吹付 機械播種施工による植生工（植生基材吹付、客土吹付、種子散布） 人力施工による植生工（植生マット、植生シート、植生筋、筋芝、張芝） 現場吹付法枠工 3. 機械経費（法面整形工） 3－1 機械経費 法面整形工（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「土木工事標準積算基準書第 2 章 工事費の積算④直接工事費」により算定するものとする。 法面整形工（ICT）<table><tr><th>ICT建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)</td><td>損料にて計上</td><td>ICT建設機械経費 加算額を加算</td></tr></table> 3－2 ICT建設機械経費加算額 3－2－1 損料加算額 ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、 2－1 機械経費のうち損料にて計上するICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 法面整形（ICT） 対象建設機械：バックホウ 損料加算額：5,470円／日 —〈204〉—	ICT建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)	損料にて計上	ICT建設機械経費 加算額を加算
ICT建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)	損料にて計上	ICT建設機械経費 加算額を加算																
ICT建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型(第3次基準値)、山積0.45m3 (平積0.35m3)	損料にて計上	ICT建設機械経費 加算額を加算																

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
〈205〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（法面工） 積算要領	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 3－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 3－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 法面整形（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役（円）} \times 0.05 \text{（人／日）} \times \frac{\text{施工数量（m2）}}{\text{作業日当り標準作業量（m2／日）}}$ 3－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 法面整形（ICT） 対象建設機械：バックホウ 費用：ICT建設機械経費損料加算額に含む 4. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 5. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、法面工（ICT）と同時に実施する土工（ICT）において補正係数を乗じる場合は適用しない。 ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1）地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 2）地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く） 3）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4）上記1）～3）に類似する3次元計測技術を用いた出来形管理 【参考】 1－4 施工歩掛 1－4－1 盛土法面整形 (1) 削取り整形 本歩掛は、築立（土羽）部を本体と同一材料（土）で同時に施工し、機械で法面部を削取りながら整形する場合に適用する。	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 3－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 3－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 法面整形（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役（円）} \times 0.05 \text{（人／日）} \times \frac{\text{施工数量（m2）}}{\text{作業日当り標準作業量（m2／日）}}$ 3－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 法面整形（ICT） 対象建設機械：バックホウ 費用：ICT建設機械経費損料加算額に含む 4. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 （法面工） 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 （法面整形工） 3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 5. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 （法面工） 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、法面工（ICT）と同時に実施する土工（ICT）において補正係数を乗じる場合は適用しない。 ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1）地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 2）地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く） 3）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4）上記1）～3）に類似する3次元計測技術を用いた出来形管理 （法面整形工） 原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。 【参考】 1 施工歩掛 1－1 盛土法面整形 (1) 削取り整形 本歩掛は、築立（土羽）部を本体と同一材料（土）で同時に施工し、機械で法面部を削取りながら整形する場合に適用する。

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																																																										
〈206〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事(法面工)積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 表 1. 1 削取り整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><th>レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.16(0.24)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.24(0.36)</td></tr><tr><td rowspan="2">バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.61</td></tr><tr><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)・吊能力2.9t</td><td>日</td><td>0.41</td></tr></table> (注) 1. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 2. 本歩掛には、残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 4. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する (2) 築立(土羽)整形 本歩掛は、土羽土部分の敷均し・締固め及び整形を機械で行う場合に適用する。 表 1. 2 築立(土羽)整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><th>レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.30(0.44)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.32(0.47)</td></tr><tr><td rowspan="2">バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.96</td></tr><tr><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)・吊能力2.9t</td><td>日</td><td>0.65</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛には、土羽土の搬入等は含まない。 2. 本歩掛には、土羽土の現場内小運搬(20m程度)及び残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 4. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 5. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する。	名 称	規 格	単 位	土 質	レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土	土 木 一 般 世 話 役		人	0.16(0.24)	普 通 作 業 員		〃	0.24(0.36)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.41	名 称	規 格	単 位	土 質	レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土	土 木 一 般 世 話 役		人	0.30(0.44)	普 通 作 業 員		〃	0.32(0.47)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.65	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 表 1. 1 削取り整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><th>レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.16(0.24)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.24(0.36)</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.61</td></tr></table> (注) 1. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 2. 本歩掛には、残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 4. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する (2) 築立(土羽)整形 本歩掛は、土羽土部分の敷均し・締固め及び整形を機械で行う場合に適用する。 表 1. 2 築立(土羽)整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th>土 質</th></tr><tr><th>レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.30(0.44)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.32(0.47)</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.96</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛には、土羽土の搬入等は含まない。 2. 本歩掛には、土羽土の現場内小運搬(20m程度)及び残土を本体盛土部へ排土する作業を含む。 3. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 4. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 5. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する。	名 称	規 格	単 位	土 質	レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土	土 木 一 般 世 話 役		人	0.16(0.24)	普 通 作 業 員		〃	0.24(0.36)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61	名 称	規 格	単 位	土 質	レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土	土 木 一 般 世 話 役		人	0.30(0.44)	普 通 作 業 員		〃	0.32(0.47)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96
名 称	規 格	単 位				土 質																																																																							
			レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.16(0.24)																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.24(0.36)																																																																										
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61																																																																										
	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.41																																																																										
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																										
			レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.30(0.44)																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.32(0.47)																																																																										
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96																																																																										
	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.65																																																																										
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																										
			レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.16(0.24)																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.24(0.36)																																																																										
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.61																																																																										
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																										
			レ キ 質 土 砂及び砂質土 粘 性 土																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.30(0.44)																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.32(0.47)																																																																										
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第 3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96																																																																										

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																								
〈207〉	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」の実施要領等について ICT活用工事(法面工)積算要領	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」の実施要領等について 1－4－2 切土法面整形 (1) 切土整形 本歩掛は、機械による切土整形に適用する。 表1. 3 切土整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">土 質</th></tr><tr><th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th><th>軟岩 (Ⅰ)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.33(0.49)</td><td>0.44(0.65)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.27(0.40)</td><td>0.38(0.56)</td></tr><tr><td rowspan="2">バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.96</td><td>1.12</td></tr><tr><td>標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m³(平積0.6m³)・吊能力2.9t</td><td>日</td><td>0.65</td><td>0.76</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛には、残土の積込み、運搬、並びに法面保護は含まない。 2. 片切掘削(人力併用機械掘削)の領域については、全面積に適用する。 3. 一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に行う整形作業(二次整形)を必要とする場合は、人力施工とする。 4. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 5. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 6. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する。 1－5 日当り施工量(D) 法面整形工(ICT施工)における日当り施工量は、次表を標準とする。 表1. 4 日当り施工量 (m²/日) <table><tr><th>整形箇所</th><th>作業区分</th><th>土 質</th><th>標準施工量</th></tr><tr><td rowspan="2">盛土部</td><td>削取り整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>242(164)</td></tr><tr><td>築立(土羽)整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>154(104)</td></tr><tr><td rowspan="2">切土部</td><td rowspan="2">切土整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>154(104)</td></tr><tr><td>軟岩(Ⅰ)</td><td>132(89)</td></tr></table> (注) 1. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の施工量とする。	名 称	規 格	単 位	土 質		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (Ⅰ)	土 木 一 般 世 話 役		人	0.33(0.49)	0.44(0.65)	普 通 作 業 員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.65	0.76	整形箇所	作業区分	土 質	標準施工量	盛土部	削取り整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242(164)	築立(土羽)整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)	切土部	切土整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)	軟岩(Ⅰ)	132(89)	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」の実施要領等について 1－2 切土法面整形 (1) 切土整形 本歩掛は、機械による切土整形に適用する。 表1. 3 切土整形歩掛 (100m²当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">土 質</th></tr><tr><th>レキ質土 砂及び砂質土 粘性土</th><th>軟岩 (Ⅰ)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.33(0.49)</td><td>0.44(0.65)</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.27(0.40)</td><td>0.38(0.56)</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>0.96</td><td>1.12</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛には、残土の積込み、運搬、並びに法面保護は含まない。 2. 片切掘削(人力併用機械掘削)の領域については、全面積に適用する。 3. 一度法面整形を完成した後、局部的に浸食・崩壊を生じた場合、保護工を施工する前に行う整形作業(二次整形)を必要とする場合は、人力施工とする。 4. バックホウ(法面バケット付)賃料は、バックホウ(クローラ型)賃料と同額とする。 5. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の人工とする 6. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)を適用する。 1－3 日当り施工量(D) 法面整形工(ICT施工)における日当り施工量は、次表を標準とする。 表1. 4 日当り施工量 (m²/日) <table><tr><th>整形箇所</th><th>作業区分</th><th>土 質</th><th>標準施工量</th></tr><tr><td rowspan="2">盛土部</td><td>削取り整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>242(164)</td></tr><tr><td>築立(土羽)整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>154(104)</td></tr><tr><td rowspan="2">切土部</td><td rowspan="2">切土整形</td><td>レキ質土、砂及び砂質土、粘性土</td><td>154(104)</td></tr><tr><td>軟岩(Ⅰ)</td><td>132(89)</td></tr></table> (注) 1. 土工量1,000m3未満の現場における法面整形作業は()の施工量とする。 1－4 単価表 (1) 削取り又は築立(土羽)及び切土整形 100m²当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表1.1, 表1.2, 表1.3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td></td><td>表1.1, 表1.2, 表1.3 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>機－33</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→ 1.33</td></tr></table>	名 称	規 格	単 位	土 質		レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (Ⅰ)	土 木 一 般 世 話 役		人	0.33(0.49)	0.44(0.65)	普 通 作 業 員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12	整形箇所	作業区分	土 質	標準施工量	盛土部	削取り整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242(164)	築立(土羽)整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)	切土部	切土整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)	軟岩(Ⅰ)	132(89)	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.3	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日		表1.1, 表1.2, 表1.3 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→ 1.33
		名 称				規 格	単 位	土 質																																																																																																																			
レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (Ⅰ)																																																																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.33(0.49)	0.44(0.65)																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)																																																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12																																																																																																																							
	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・ クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014年規制)・ クローラ型(法面バケット付) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)・吊能力2.9t	日	0.65	0.76																																																																																																																							
整形箇所	作業区分	土 質	標準施工量																																																																																																																								
盛土部	削取り整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242(164)																																																																																																																								
	築立(土羽)整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)																																																																																																																								
切土部	切土整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)																																																																																																																								
		軟岩(Ⅰ)	132(89)																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	土 質																																																																																																																								
			レキ質土 砂及び砂質土 粘性土	軟岩 (Ⅰ)																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人	0.33(0.49)	0.44(0.65)																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	0.27(0.40)	0.38(0.56)																																																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	0.96	1.12																																																																																																																							
整形箇所	作業区分	土 質	標準施工量																																																																																																																								
盛土部	削取り整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	242(164)																																																																																																																								
	築立(土羽)整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)																																																																																																																								
切土部	切土整形	レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	154(104)																																																																																																																								
		軟岩(Ⅰ)	132(89)																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人		表1.1, 表1.2, 表1.3																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日		表1.1, 表1.2, 表1.3 機械損料																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																																																																								
計																																																																																																																											
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																								
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→ 1.33																																																																																																																								

—〈207〉—

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																				
〈212〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（地盤改良工）（中層混合処理） 積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 2－2 ICT建設機械経費加算額 ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、 2－1 機械経費で示すICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 中層混合処理工（ICT） 対象建設機械：中層混合処理機トレンチャ式 損料加算額：48,000円／日 2－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 中層混合処理（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役 (円)} \times 0.05 \text{ (人／日)} \times \frac{\text{施工数量 (m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3／日)}}$ (注) 1. 作業日当り標準作業量は「第 1 編第14章その他④作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。 2. 施工数量は、ICT施工の数量とする。 2－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 中層混合処理工（ICT） 対象建設機械：中層混合処理機トレンチャ式 費用：1,150,000円／式 3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 中層混合処理工（ICT）における、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5. 土木工事標準積算基準書に対する補正 5－1 作業日当り標準作業量の補正 中層混合処理工（ICT）を実施する場合、作業日当り標準作業量に対して1.03を乗じる。（小数第2位止め、四捨五入） ※変更積算については、実際にICT施工による数量についてのみ補正するものとする。 5－2 単価表の補正 積算基準の「6. 単価表（1）中層混合処理工100m3当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>100/D</td><td>機械賃料数量 1.53</td></tr></table> (注) D：1 日当り作業量（m3／日） 6. 諸雑費 中層混合処理工（ICT）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、ICT建設機械経費加算額は含めない。	名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.53	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 2－2 ICT建設機械経費加算額 ICT建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、 2－1 機械経費で示すICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 中層混合処理工（ICT） 対象建設機械：中層混合処理機トレンチャ式 損料加算額：48,000円／日 2－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 中層混合処理（ICT） $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役 (円)} \times 0.05 \text{ (人／日)} \times \frac{\text{施工数量 (m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3／日)}}$ (注) 1. 作業日当り標準作業量は「第 1 編第14章その他④作業日当り標準作業量」のICT標準作業量による。 2. 施工数量は、ICT施工の数量とする。 2－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 (1) 中層混合処理工（ICT） 対象建設機械：中層混合処理機トレンチャ式 費用：1,150,000円／式 3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 中層混合処理工（ICT）における、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5. 土木工事標準積算基準書に対する補正 5－1 作業日当り標準作業量の補正 中層混合処理工（ICT）を実施する場合、作業日当り標準作業量に対して1.03を乗じる。（小数第2位止め、四捨五入） ※変更積算については、実際にICT施工による数量についてのみ補正するものとする。 5－2 単価表の補正 積算基準の「6. 単価表（1）中層混合処理工100m3当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>100/D</td><td>機械賃料数量 1.66</td></tr></table> (注) D：1 日当り作業量（m3／日） 6. 諸雑費 中層混合処理工（ICT）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、ICT建設機械経費加算額は含めない。	名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.66
名称	規格	単位	数量	指定事項																			
ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.53																			
名称	規格	単位	数量	指定事項																			
ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.66																			

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																						
〈219〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（舗装工（修繕工））積算要領	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 2－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 （１）舗装工（修繕工）(ICT) 対象機械：路面切削機 548,000円／式 3．3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 4．3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 舗装工（修繕工）(ICT) における、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5．土木工事標準積算基準書に対する補正 5－1 単価表の補正 積算基準の「7．単価表（１）切削オーバーレイ100㎡当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="4">ICT建設機械経費加算額</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">日</td><td rowspan="4">100/D</td><td>7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00</td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（㎡／日） 6．諸雑費 舗装工（修繕工）(ICT) を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、ICT建設機械経費加算額は含めない。	名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31	7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26	7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00		35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 2－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 （１）舗装工（修繕工）(ICT) 対象機械：路面切削機 548,000円／式 3．3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 4．3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 舗装工（修繕工）(ICT) における、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5．土木工事標準積算基準書に対する補正 5－1 単価表の補正（切削オーバーレイ工） 積算基準の「7．単価表（１）切削オーバーレイ100㎡当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="4">ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">日</td><td rowspan="4">100/D</td><td>7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00</td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（㎡／日） 5－2 単価表の補正（路面切削工） 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="3">ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">日</td><td rowspan="3">1/D</td><td>6cm以下 機械損料数量 1.54</td></tr><tr><td>6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1.37</td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（㎡／日） 6．諸雑費 舗装工（修繕工）(ICT) を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、ICT建設機械経費加算額は含めない。	名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （ 切削オーバーレイ工 ）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31	7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26	7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00		名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （ 路面切削工 ）		日	1/D	6cm以下 機械損料数量 1.54	6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1.37	
名称	規格	単位	数量	指定事項																																					
ICT建設機械経費加算額		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31																																					
				7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26																																					
				7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00																																					
名称	規格	単位	数量	指定事項																																					
ICT建設機械経費加算額 （ 切削オーバーレイ工 ）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.31																																					
				7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械賃料数量 1.26																																					
				7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械賃料数量 1.00																																					
名称	規格	単位	数量	指定事項																																					
ICT建設機械経費加算額 （ 路面切削工 ）		日	1/D	6cm以下 機械損料数量 1.54																																					
				6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1.37																																					
—〈219〉—		—〈219〉—																																							

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																																																												
〈224〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（土工 1000m3 未満）積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 3. 3 次元設計データの作成費用 3 次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 4. 3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用 原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。 5. 積算方法 受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、〔ICT建設機械使用割合100%〕を用いて積算するものとする。 【参考】 1. 施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 (2) 土質区分 日当り施工量における土質は、次表のとおり区分する。 <table><caption>表 1.1 土質区分</caption><tr><th>土 質 名</th><th>分 類 土 質 名</th></tr><tr><td>レキ質土、砂利混り土、レキ</td><td>レキ質土</td></tr><tr><td>砂</td><td>砂</td></tr><tr><td>砂質土、普通土、砂質ローム</td><td>砂質土</td></tr><tr><td>粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土</td><td>粘性土</td></tr><tr><td>岩塊・玉石混り土、破砕岩</td><td>岩塊・玉石</td></tr></table> 1－1 オープンカット（バックホウ掘削） (1) 日当り施工量 オープンカット（バックホウ掘削）の日当り施工量は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1.2 オープンカット(バックホウ掘削) 日当り施工量 (1 日当り)</caption><tr><th>作業の内容</th><th>名 称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th colspan="2">数量</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>障 害</th><th>障 害</th></tr><tr><td rowspan="2">オープン カット 1,000m³ 未満</td><td rowspan="2">バックホウ (クローラ型) 運転</td><td>レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>m³</td><td>169</td><td>83</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>#</td><td>129</td><td>64</td></tr></table>	土 質 名	分 類 土 質 名	レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ質土	砂	砂	砂質土、普通土、砂質ローム	砂質土	粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土	粘性土	岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石	作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量							障 害	障 害	オープン カット 1,000m ³ 未満	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	169	83	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	#	129	64	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 3. 3 次元設計データの作成費用 3 次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。また、3 次元起工測量を実施した場合は、3 次元設計データの作成費用と同様に計上するものとする。 4. 3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用 原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。ただし、受発注者協議の上、面管理にて出来形管理を実施する場合は、必要額を適正に積み上げるものとする。 5. 積算方法 受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、〔ICT建設機械使用割合100%〕を用いて積算するものとする。 【参考】 1. 施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 (2) 土質区分 日当り施工量における土質は、次表のとおり区分する。 <table><caption>表 1.1 土質区分</caption><tr><th>土 質 名</th><th>分 類 土 質 名</th></tr><tr><td>レキ質土、砂利混り土、レキ</td><td>レキ質土</td></tr><tr><td>砂</td><td>砂</td></tr><tr><td>砂質土、普通土、砂質ローム</td><td>砂質土</td></tr><tr><td>粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土</td><td>粘性土</td></tr><tr><td>岩塊・玉石混り土、破砕岩</td><td>岩塊・玉石</td></tr></table> 1－1 オープンカット（バックホウ掘削） (1) 日当り施工量 オープンカット（バックホウ掘削）の日当り施工量は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1.2 オープンカット(バックホウ掘削) 日当り施工量 (1 日当り)</caption><tr><th>作業の内容</th><th>名 称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th colspan="2">数量</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>障 害 なし</th><th>障 害 あり</th></tr><tr><td rowspan="2">オープン カット 1,000m³ 未満</td><td rowspan="2">バックホウ (クローラ型) 運転</td><td>レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>m³</td><td>169</td><td>83</td></tr><tr><td>岩塊・玉石</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>#</td><td>129</td><td>64</td></tr></table>	土 質 名	分 類 土 質 名	レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ質土	砂	砂	砂質土、普通土、砂質ローム	砂質土	粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土	粘性土	岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石	作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量							障 害 なし	障 害 あり	オープン カット 1,000m ³ 未満	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	169	83	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	#	129	64
土 質 名	分 類 土 質 名																																																																														
レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ質土																																																																														
砂	砂																																																																														
砂質土、普通土、砂質ローム	砂質土																																																																														
粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土	粘性土																																																																														
岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石																																																																														
作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量																																																																										
					障 害	障 害																																																																									
オープン カット 1,000m ³ 未満	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	169	83																																																																									
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	#	129	64																																																																									
土 質 名	分 類 土 質 名																																																																														
レキ質土、砂利混り土、レキ	レキ質土																																																																														
砂	砂																																																																														
砂質土、普通土、砂質ローム	砂質土																																																																														
粘土、粘性土、シルト質ローム、砂質粘性土、粘土質ローム火山灰質粘性土、有機質土	粘性土																																																																														
岩塊・玉石混り土、破砕岩	岩塊・玉石																																																																														
作業の内容	名 称	土質名	規 格	単位	数量																																																																										
					障 害 なし	障 害 あり																																																																									
オープン カット 1,000m ³ 未満	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・ 砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	169	83																																																																									
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	#	129	64																																																																									

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																	
〈225〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（土工 1000m3 未満）積算要領	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 1－2 片切掘削 （1）日当り施工量 片切掘削の日当り施工量は、次表を標準とする。 表1.3 片切掘削（人力併用機械掘削）日当り施工量 （1日当り） <table><tr><th>作業の内容</th><th>名称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>片 切 掘 削 1,000m3 未満</td><td>バックホウ(クローラ型)運転</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>m³</td><td>164</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工（法面整形工）の機械による切土整形にて計上する。 2. 上表にクレーン作業は含まない。 （2）人力掘削歩掛 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛は、次表を標準とする。 表1.4 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛（100m²当り） <table><tr><th>名 称</th><th>土 質 名</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>人</td><td>3.9</td></tr></table> (注) 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工（法面整形工）の機械による切土整形にて計上する。	作業の内容	名称	土質名	規 格	単位	数量	片 切 掘 削 1,000m3 未満	バックホウ(クローラ型)運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	164	名 称	土 質 名	単位	数量	普 通 作 業 員	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	人	3.9	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 1－2 片切掘削 （1）日当り施工量 片切掘削の日当り施工量は、次表を標準とする。 表1.3 片切掘削（人力併用機械掘削）日当り施工量 （1日当り） <table><tr><th>作業の内容</th><th>名称</th><th>土質名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>片 切 掘 削 1,000m3 未満</td><td>バックホウ(クローラ型)運転</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>m³</td><td>164</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工（法面整形工）の機械による切土整形にて計上する。 2. 上表にクレーン作業は含まない。 （2）人力掘削歩掛 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛は、次表を標準とする。 表1.4 片切掘削（人力併用機械掘削）の人力掘削歩掛（100m²当り） <table><tr><th>名 称</th><th>土 質 名</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td><td>人</td><td>3.9</td></tr></table> (注) 本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。 なお、法面整形は法面工（法面整形工）の機械による切土整形にて計上する。 2. 単価表 （1）オープンカット（バックホウ掘削）100m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>100/D</td><td>表1.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>(まるめ)</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 （2）片切掘削（人力併用機械掘削）100m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表1.4</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>100/D</td><td>表1.3</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>(まるめ)</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 （3）機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ オ ー プ ン カ ッ ト ）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>機－33</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 片 切 掘 削 ）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>機－33</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33</td></tr></table>	作業の内容	名称	土質名	規 格	単位	数量	片 切 掘 削 1,000m3 未満	バックホウ(クローラ型)運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	164	名 称	土 質 名	単位	数量	普 通 作 業 員	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	人	3.9	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.2	諸 雑 費		式	1	(まるめ)	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表1.4	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.3	諸 雑 費		式	1	(まるめ)	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ オ ー プ ン カ ッ ト ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 片 切 掘 削 ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33
作業の内容	名称	土質名	規 格	単位	数量																																																																																															
片 切 掘 削 1,000m3 未満	バックホウ(クローラ型)運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	164																																																																																															
名 称	土 質 名	単位	数量																																																																																																	
普 通 作 業 員	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	人	3.9																																																																																																	
作業の内容	名称	土質名	規 格	単位	数量																																																																																															
片 切 掘 削 1,000m3 未満	バックホウ(クローラ型)運転	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	164																																																																																															
名 称	土 質 名	単位	数量																																																																																																	
普 通 作 業 員	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	人	3.9																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.2																																																																																																
諸 雑 費		式	1	(まるめ)																																																																																																
計																																																																																																				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																
普 通 作 業 員		人		表1.4																																																																																																
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.3																																																																																																
諸 雑 費		式	1	(まるめ)																																																																																																
計																																																																																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ オ ー プ ン カ ッ ト ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 片 切 掘 削 ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機－33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33																																																																																																	

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
〈226〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（基礎工） 積算要領	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－33 ICT活用工事（基礎工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3 次元設計データを活用した法面工（以下、基礎工（ICT））に適用する。 2. 適用工種 1) 矢板工 2) 既製杭工 3) 場所打杭工 3. 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 4. 3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3 次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び 3 次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 ※小数点第 3 位四捨五入 2 位止め なお、基礎工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の 1）～ 4）とし、それ以外の、ICT 活用工事（基礎工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4) 上記 1）～ 3）に類似する 3 次元計測技術を用いた出来形管理 —〈226〉—	第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－33 ICT活用工事（基礎工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3 次元設計データを活用した基礎工（以下、基礎工（ICT））に適用する。 2. 適用工種 1) 矢板工 2) 既製杭工 3) 場所打杭工 3. 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 4. 3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3 次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び 3 次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 ※小数点第 3 位四捨五入 2 位止め なお、基礎工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の 1）～ 4）とし、それ以外の、ICT 活用工事（基礎工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1) 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理 3) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4) 上記 1）～ 3）に類似する 3 次元計測技術を用いた出来形管理 —〈226〉—

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
〈227〉	35. i-Construction における「ICT の全面的活用」の実施要領等について ICT 活用工事（擁壁工） 積算要領	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」の実施要領等について 別紙－35 ICT活用工事（擁壁工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3次元設計データを活用した法面工（以下、擁壁工（ICT））に適用する。 2. 適用工種 擁壁工 3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、擁壁工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（擁壁工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1）地上型レーザーキャナを用いた出来形管理 2）地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く） 3）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4）上記1）～3）に類似する3次元計測技術を用いた出来形管理 —〈227〉—	35. i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」の実施要領等について 別紙－35 ICT活用工事（擁壁工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、3次元設計データを活用した擁壁工（以下、擁壁工（ICT））に適用する。 2. 適用工種 擁壁工 3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、擁壁工（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の、ICT活用工事（擁壁工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 1）地上型レーザーキャナを用いた出来形管理 2）地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く） 3）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 4）上記1）～3）に類似する3次元計測技術を用いた出来形管理 —〈227〉—

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																								
〈228〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 別紙－37 ICT活用工事（小規模土工）積算要領 1. 適用範囲 本資料は、バックホウを用いて行う下記のいずれかに該当する小規模な土工に適用する。ただし、共同溝工、電線共同溝工、情報ボックス工（ダンブトラック運搬を除く）及び光ケーブル配管工（ダンブトラック運搬を除く）には適用しない。 ・ 1 箇所当りの施工土量が100m3程度までの掘削、積込み及びそれらに伴う運搬作業 ・ 1 箇所当りの施工土量が100m3程度まで、又は平均施工幅 1 m未満の床掘り及びそれに伴う埋戻し、舗装版破砕積込（舗装厚 5 cm以内）、運搬作業 また、適用土質は、土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）とする。 なお、「1 箇所当り」とは目的物（構造物・掘削等）1 箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を 1 箇所とする。 2. 機械経費 2－1 機械経費 小規模土工（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、土木工事標準積算基準書の「第 2 章 工事費の積算」 ①直接工事費により算定するものとする。 ① 小規模土工（ICT） <table><tr><th>作業の種類</th><th>作業の内容</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">掘削積込 積込み</td><td>標 準</td><td>バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m³（平積0. 2m³）</td><td></td></tr><tr><td>上記以外</td><td>小型 バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m³（平積0. 1m³）</td><td></td></tr><tr><td>舗装版破砕積込</td><td>－</td><td>小型 バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m³（平積0. 1m³）</td><td></td></tr><tr><td>床掘り</td><td>－</td><td>バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m³（平積0. 2m³）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">埋戻し</td><td rowspan="2">－</td><td>バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m³（平積0. 2m³）</td><td>はねつけ</td></tr><tr><td>タンバ及びランマ</td><td>質量60～80kg</td><td>締固め</td></tr><tr><td rowspan="2">運搬</td><td rowspan="2">－</td><td>ダンブトラック</td><td>オンロード・ディーゼル 4t横絞</td><td>バックホウ山積0. 28m³ （平積0. 2m³）の場合</td></tr><tr><td>ダンブトラック</td><td>オンロード・ディーゼル 2t横絞</td><td># 山積0. 13m³ （平積0. 1m³）の場合</td></tr></table> （注）作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び 1 箇所当りの施工土量が50m³以下の箇所とする	作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要	掘削積込 積込み	標 準	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）		上記以外	小型 バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）		舗装版破砕積込	－	小型 バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）		床掘り	－	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）		埋戻し	－	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）	はねつけ	タンバ及びランマ	質量60～80kg	締固め	運搬	－	ダンブトラック	オンロード・ディーゼル 4t横絞	バックホウ山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）の場合	ダンブトラック	オンロード・ディーゼル 2t横絞	# 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）の場合
		作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要																																					
掘削積込 積込み	標 準	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）																																								
	上記以外	小型 バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）																																								
舗装版破砕積込	－	小型 バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）																																								
床掘り	－	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）																																								
埋戻し	－	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第 2 次基準値） 山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）	はねつけ																																							
		タンバ及びランマ	質量60～80kg	締固め																																							
運搬	－	ダンブトラック	オンロード・ディーゼル 4t横絞	バックホウ山積0. 28m ³ （平積0. 2m ³ ）の場合																																							
		ダンブトラック	オンロード・ディーゼル 2t横絞	# 山積0. 13m ³ （平積0. 1m ³ ）の場合																																							
			—〈228〉—																																								

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後
〈229〉	35. i-Construction における「ICT の全面的活用」の実施要領 等について ICT 活用工事（小規模 土工）積算要領		35. i-Construction)における「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 2－2 ICT建設機械経費加算額 2－2－1 損料加算額 ICT建設機械経費損料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち損料にて計上するICT建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 小規模土工 (ICT) 対象建設機械：バックホウ (ICT施工対応型) 損料加算額：5,470円／日 2－3 その他 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2－3－1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 小規模土工 (ICT) 保守点検費 = 土木一般世話役(円)× 0.05(人/日) × $\frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量(m3/日)}}$ 2－3－2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 小規模土工 (ICT) 対象建設機械：バックホウ 費用：ICT建設機械経費損料加算額に含む 3. 3次元設計データの作成費用 3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。また、3次元起工測量を実施した場合は、3次元設計データの作成費用と同様に計上するものとする。 4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。ただし、受発注者協議の上、面管理にて出来形管理を実施する場合は、必要額を適正に積み上げるものとする。 5. 積算方法 受注者からの提案・協議によりICT施工を実施した場合は、〔ICT建設機械使用割合100%〕を用いて積算するものとする。 —〈229〉—

頁	項目	修正前	修正後																																																																		
〈230〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 [参考] 1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。 表 1. 1 機種を選定 <table><tr><th>作業の種類</th><th>作業の内容</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">掘 削 積 込 み</td><td>標 準</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td><td></td></tr><tr><td>上 記 以 外</td><td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m³ (平積 0.1m³)</td><td></td></tr><tr><td>舗装版破砕積込</td><td>—</td><td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m³ (平積 0.1m³)</td><td></td></tr><tr><td>床 掘 り</td><td>—</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">埋 戻 し</td><td rowspan="2">—</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td><td>はねつけ</td></tr><tr><td>タンバ及びランマ</td><td>質量 60～80kg</td><td>締固め</td></tr><tr><td rowspan="2">運 搬</td><td rowspan="2">—</td><td>ダンプトラック</td><td>オンロード・ディーゼル 4t 積級</td><td>バックホウ山積 0.28m³ (平積 0.2m³) の場合</td></tr><tr><td>ダンプトラック</td><td>オンロード・ディーゼル 2t 積級</td><td># 山積 0.13m³ (平積 0.1m³) の場合</td></tr></table> (注) 作業の内容における上記以外とは、構造物及び建築物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び 1 箇所当りの施工土量が 50m³以下の箇所とする。 2. 掘削積込作業及び積込作業 2－1 日当り施工量 バックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 2. 1 日当り施工量 (1 日当り) <table><tr><th>作業の内容</th><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>地 山 の 掘 削 積 込</th><th>ル ー ス な 状 態 の 掘 削 積 込</th></tr><tr><td>標 準</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td><td>m³</td><td>40</td><td>45</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m³ (平積 0.1m³)</td><td>#</td><td>16</td><td>23</td></tr></table> 3. 舗装版破砕積込作業 3－1 日当り施工量 舗装版破砕積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 3. 1 日当り施工量 (1 日当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m³ (平積 0.1m³)</td><td>m²</td><td>23</td></tr></table> —〈230〉—	作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要	掘 削 積 込 み	標 準	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)		上 記 以 外	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)		舗装版破砕積込	—	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)		床 掘 り	—	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)		埋 戻 し	—	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	はねつけ	タンバ及びランマ	質量 60～80kg	締固め	運 搬	—	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t 積級	バックホウ山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) の場合	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t 積級	# 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³) の場合	作業の内容	名 称	規 格	単 位	地 山 の 掘 削 積 込	ル ー ス な 状 態 の 掘 削 積 込	標 準	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	m ³	40	45	上記以外	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)	#	16	23	名 称	規 格	単 位	数 量	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)	m ²	23
作業の種類	作業の内容	機 械 名	規 格	摘 要																																																																	
掘 削 積 込 み	標 準	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)																																																																		
	上 記 以 外	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)																																																																		
舗装版破砕積込	—	小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)																																																																		
床 掘 り	—	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)																																																																		
埋 戻 し	—	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	はねつけ																																																																	
		タンバ及びランマ	質量 60～80kg	締固め																																																																	
運 搬	—	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t 積級	バックホウ山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) の場合																																																																	
		ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t 積級	# 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³) の場合																																																																	
作業の内容	名 称	規 格	単 位	地 山 の 掘 削 積 込	ル ー ス な 状 態 の 掘 削 積 込																																																																
標 準	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	m ³	40	45																																																																
上記以外	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)	#	16	23																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)	m ²	23																																																																		

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																				
〈231〉	35. i-Construction における「ICT の全面的活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		35. i-Construction)における「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 4. 床 掘 作 業 4－1 日当り施工量 バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表4. 1 日当り施工量 (1日当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>m³</td><td>34</td></tr></table> 4－2 補助労務 床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。 表4. 2 床掘補助労務 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0.3</td><td>基面整正及び浮き石除去含む</td></tr></table> 5. 埋 戻 作 業 5－1 適用範囲 機械による埋戻し（敷均し含む）及び締固めの一連作業に適用する。 5－2 日当り施工量 バックホウによる埋戻作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表5. 1 日当り施工量 (1日当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>m³</td><td>40</td></tr><tr><td>タ ン バ 運 転</td><td>質量60～80kg</td><td>#</td><td>36</td></tr></table> （注）上表には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれる。 5－3 補助労務 埋戻作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。 表5. 2 埋戻作業補助労務 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0.8</td><td>敷均し及びタンバ締固め補助</td></tr></table> （注）上表には、はねつけ～締固めまでの作業が含まれる。 —〈231〉—	名 称	規 格	単 位	数 量	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	m ³	34	名 称	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	0.3	基面整正及び浮き石除去含む	名 称	規 格	単 位	数 量	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	m ³	40	タ ン バ 運 転	質量60～80kg	#	36	名 称	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員	人	0.8	敷均し及びタンバ締固め補助
名 称	規 格	単 位	数 量																																				
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	m ³	34																																				
名 称	単 位	数 量	摘 要																																				
普 通 作 業 員	人	0.3	基面整正及び浮き石除去含む																																				
名 称	規 格	単 位	数 量																																				
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	m ³	40																																				
タ ン バ 運 転	質量60～80kg	#	36																																				
名 称	単位	数量	摘 要																																				
普 通 作 業 員	人	0.8	敷均し及びタンバ締固め補助																																				

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																																																																																																																																																																		
〈232〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 6. 運 搬 作 業 6－1 施工歩掛 運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。 運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。 表6. 1 ダンプトラック運搬日数(土砂) (10m³当り) <table><tr><td>積込機種・規格</td><td colspan="16">バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m³（平積0.2m³） バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m³（平積0.2m³）</td></tr><tr><td>運搬機種・規格</td><td colspan="16">ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕4t積級</td></tr><tr><td colspan="17">DID区間：無し</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>0.2 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.0 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.5 以下</td><td>10.0 以下</td><td>13.0 以下</td><td>19.0 以下</td><td>35.0 以下</td><td>60.0 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>運搬日数（日）</td><td>0.2</td><td>0.25</td><td>0.3</td><td>0.35</td><td>0.4</td><td>0.45</td><td>0.5</td><td>0.55</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.1</td><td>1.5</td><td>2.3</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="17">DID区間：有り</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>0.2 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>9.0 以下</td><td>12.0 以下</td><td>17.0 以下</td><td>27.0 以下</td><td>60.0 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>運搬日数（日）</td><td>0.2</td><td>0.25</td><td>0.3</td><td>0.35</td><td>0.4</td><td>0.45</td><td>0.5</td><td>0.55</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.1</td><td>1.5</td><td>2.3</td><td colspan="2"></td></tr></table> 表6. 2 ダンプトラック運搬日数(土砂) (10m³当り) <table><tr><td>積込機種・規格</td><td colspan="16">バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.13m³（平積0.1m³）</td></tr><tr><td>運搬機種・規格</td><td colspan="16">ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t積級</td></tr><tr><td colspan="17">DID区間：無し</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>0.3 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>9.0 以下</td><td>12.0 以下</td><td>17.0 以下</td><td>28.5 以下</td><td>60.0 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>運搬日数（日）</td><td>0.45</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.3</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>2.3</td><td>3.0</td><td>4.5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="17">DID区間：有り</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>0.3 以下</td><td>1.0 以下</td><td>1.5 以下</td><td>2.5 以下</td><td>3.0 以下</td><td>3.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>5.0 以下</td><td>6.5 以下</td><td>8.0 以下</td><td>11.0 以下</td><td>15.0 以下</td><td>24.0 以下</td><td>60.0 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>運搬日数（日）</td><td>0.45</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.7</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.3</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>2.3</td><td>3.0</td><td>4.5</td><td colspan="2"></td></tr></table> （注） 1．上表は地山10m³の土量を運搬する日数である。 2．運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3．自動車専用道路を利用する場合には、別途計上する。 4．D I D（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5．運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 6－2 補正係数（K） 舗装版破砕積込作業歩掛に対する適用土質（アスファルト塊）による補正は、次式により行うものとし、補正係数（K）の値は次表とする。 10m³当り運搬日数＝土砂の10m³当り運搬日数×（1＋K） 表6. 3 補正係数（K） <table><tr><td>補 正 係 数</td><td>+0.30</td></tr></table> —〈232〉—	積込機種・規格	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）																運搬機種・規格	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕4t積級																DID区間：無し																	運搬距離（km）	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下			運搬日数（日）	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3			DID区間：有り																	運搬距離（km）	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下			運搬日数（日）	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3			積込機種・規格	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）																運搬機種・規格	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t積級																DID区間：無し																	運搬距離（km）	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下			運搬日数（日）	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5			DID区間：有り																	運搬距離（km）	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下			運搬日数（日）	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5			補 正 係 数	+0.30
積込機種・規格	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																				
運搬機種・規格	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕4t積級																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DID区間：無し																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運搬距離（km）	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																							
運搬日数（日）	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3																																																																																																																																																																																																																																																																							
DID区間：有り																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運搬距離（km）	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																							
運搬日数（日）	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3																																																																																																																																																																																																																																																																							
積込機種・規格	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																				
運搬機種・規格	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t積級																																																																																																																																																																																																																																																																																				
DID区間：無し																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運搬距離（km）	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																							
運搬日数（日）	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																							
DID区間：有り																																																																																																																																																																																																																																																																																					
運搬距離（km）	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下																																																																																																																																																																																																																																																																							
運搬日数（日）	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																							
補 正 係 数	+0.30																																																																																																																																																																																																																																																																																				

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																			
〈233〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		35. i-Construction)における「ICTの全面的な活用」の実施要領等について 7. 単 価 表 (1) バックホウ掘削積込10m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>日</td><td>10/D</td><td>表2.1 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (2) バックホウ積込10m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>日</td><td>10/D</td><td>表2.1 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (3) バックホウ舗装版破砕積込10m²当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>日</td><td>10/D</td><td>表3.1 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (4) バックホウ床掘10m²当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.2</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)</td><td>日</td><td>10/D</td><td>表4.1 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (5) バックホウ埋戻し10m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.2</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)</td><td>日</td><td>10/D</td><td>表5.1 機械損料</td></tr><tr><td>タ ン バ 運 転</td><td>質量60～80kg</td><td>〃</td><td>10/D</td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表4.2	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	日	10/D	表4.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表5.2	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	日	10/D	表5.1 機械損料	タ ン バ 運 転	質量60～80kg	〃	10/D	〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³) 又は 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m³ (平積0.1m³)	日	10/D	表3.1 機械損料																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																		
普 通 作 業 員		人		表4.2																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	日	10/D	表4.1 機械損料																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																		
普 通 作 業 員		人		表5.2																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方型小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	日	10/D	表5.1 機械損料																																																																																																																		
タ ン バ 運 転	質量60～80kg	〃	10/D	〃																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						

—〈233〉—

令和 4 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

(2022 年 8 月)

頁	項目	修正前	修正後																																																
〈234〉	35. i-Construction における「ICT の全面的な活用」の実施要領等について ICT 活用工事（小規模土工）積算要領		第 1 編 土木工事積算基準等通知資料 (6) ダンプトラック運搬10m³当り単価表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ダンプトラック運転</td><td>オンロード・ディーゼル 4t積級又は2t積級</td><td>日</td><td></td><td>表6.1～表6.3 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (7) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)</td><td>機—33</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57</td></tr><tr><td>〃</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>機—33</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 24 機械損料数量→ 1.32</td></tr><tr><td>〃</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)</td><td>機—33</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57</td></tr><tr><td>ダ ンプ ト ラ ッ ク</td><td>オンロード・ディーゼル 4t積級</td><td>機—22</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 34 機械損料数量→ 1.17</td></tr><tr><td>〃</td><td>オンロード・ディーゼル 2t積級</td><td>機—22</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 23 機械損料数量→ 1.17</td></tr><tr><td>タンバ及びランマ</td><td>質量60～80kg</td><td>機—23</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 6 機械損料数量→ 1.62 主 燃 料→ ガソリン</td></tr></table> —〈234〉—	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t積級又は2t積級	日		表6.1～表6.3 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57	〃	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 24 機械損料数量→ 1.32	〃	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57	ダ ンプ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 4t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 34 機械損料数量→ 1.17	〃	オンロード・ディーゼル 2t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 23 機械損料数量→ 1.17	タンバ及びランマ	質量60～80kg	機—23	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 6 機械損料数量→ 1.62 主 燃 料→ ガソリン
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																															
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t積級又は2t積級	日		表6.1～表6.3 機械損料																																															
諸 雑 費		式	1																																																
計																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57																																																
〃	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 24 機械損料数量→ 1.32																																																
〃	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 40 機械損料数量→ 1.57																																																
ダ ンプ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 4t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 34 機械損料数量→ 1.17																																																
〃	オンロード・ディーゼル 2t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 23 機械損料数量→ 1.17																																																
タンバ及びランマ	質量60～80kg	機—23	運転労務数量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 6 機械損料数量→ 1.62 主 燃 料→ ガソリン																																																